

規約変更箇所（2022年開催時に変更した分です）

- ① 自局のコールサインの送定の頻度を明確化しました。
- ② 1.9MHz帯でのSSBの追加に伴い電信電話1.9MHz部門を追加しました。
- ③ コンテスト周波数をJARLのコンテスト規約に準ずるとしました。
- ④ 送信出力の上限を100Wに設定しました。
- ⑤ 電信電話部門のエントリー条件を明確化しました。
- ⑥ エントリー部門はログの交信内容ではなく、サマリーシートの内容で判断することを明確化しました。
- ⑦ 社団局の部門コードを変更しました。
- ⑧ 社団局のオペレーターの数を問わないと明確化しました。
- ⑨ 電信での呼出方法で県外局はCQ KMO TESTに変更しました。
- ⑩ S02Rでの参加、RBN、国内クラスター利用の有無をサマリーシートの意見欄に記入をお願いしました。

2023 オール熊本コンテスト規約

開催日時：2023年01月08日(日) 09:00~18:00

参加資格：日本国内のアマチュア無線局およびSWL

使用周波数：1.9~1200MHz：JARLコンテスト周波数帯を使用(3.8/10/18/24MHzを除く)

送信出力：個人局、社団局ともに上限100Wとする。

交信相手：県内局：日本国内で運用するアマチュア局 県外局：熊本県内で運用するアマチュア局

呼出：電信：県内局「CQ KM TEST」 県外局「CQ KMO TEST」 電話：「CQ 熊本コンテスト」 県内局はコールサインの後に「県内局」を送出し、県内局であることをアナウンスする

コンテストナンバー： 県内局=RS(T)+市郡区ナンバー 県外局=RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点：アマチュア局=各バンド毎に異なる局との交信1点、SWL局=各バンド毎に異なる局の受信1点 但し同一バンドで同一局でも電話と電信での交(受)信はそれぞれ有効とする

マルチプレイヤー：

県内局=完全な交(受)信を行なった相手局の運用場所を示す熊本県以外の異なる都府県支庁及び熊本県内の市郡区。ただし、バンドが異なれば同一都府県支庁及び熊本県内の市郡区であってもマルチプレイヤーとする。

県外局=完全な交(受)信を行なった相手局の運用場所を示す異なる熊本県内の市郡区。ただし、バンドが異なれば同一熊本県内の市郡区であってもマルチプレイヤーとする。

総得点：マルチバンド：「各バンドで得た得点の和」×「各バンドで得たマルチの和」

シングルバンド：「当該バンドで得た得点の和」×「当該バンドで得たマルチの和」

参加部門・種目

(電信電話部門)			
種 目		コードナンバー	
		県内局	県外局
個人局	1.9MHz	KF 1.9	GF 1.9
個人局	3.5MHz	KF 3.5	GF 3.5
個人局	7MHz	KF 7	GF 7
個人局	14MHz	KF 14	GF 14
個人局	21MHz	KF 21	GF 21
個人局	28MHz	KF 28	GF 28
個人局	50MHz	KF 50	GF 50
個人局	144MHz	KF 144	GF 144
個人局	430MHz	KF 430	GF 430
個人局	1200MHz	KF 1200	GF 1200
個人局	マルチバンド	K F M	G F M
個人局	SWL マルチバンド	K F SWL	G F SWL
社団局	マルチバンド	K F S M	G F S M

(電信部門)			
種 目		コードナンバー	
		県内局	県外局
個人局	1.9MHz	KC 1.9	GC 1.9
個人局	3.5MHz	KC 3.5	GC 3.5
個人局	7MHz	KC 7	GC 7
個人局	14MHz	KC 14	GC 14
個人局	21MHz	KC 21	GC 21
個人局	28MHz	KC 28	GC 28
個人局	マルチバンド	K C M	G C M
個人局	QRP マルチバンド	K C M Q	G C M Q
個人局	SWL マルチバンド	K C SWL	G C SWL
社団局	マルチバンド	K C S M	G C S M

注1、 自局のコールサインは一交信毎に送出することを推奨します。

注2、 社団局のオペレーターの数は問わない(一人でも可)

- 注3、 QRP 種目参加局は空中線電力が5W以下であること、ATT, Power Control等で出力を5Wに低減したのも認める。(サマリーに使用Rig名・自作の場合ファイナル必ず明記すること)
- 注4、 電信電話部門へのエントリーは、電信並びに電話両方での交信、又は電話のみの交信があった場合のみエントリーできる。
- 注5、 マルチバンドや電信電話で交信したがシングルバンド、又は電信部門へのエントリーの場合には、エントリー部門はサマリーシートの内容で判断します。その際、他のバンド、モードはチェックログとしますので、全ての交信のログ提出を推奨し、サマリーシートにはエントリー部門に該当する交信局数、得点、マルチのみの記載をお願いします。
- 注6、 マルチバンドへのエントリーは交信したバンド数を問わない。
- 注7、 交信上の禁止：JARLコンテスト規約に準ずる。
- 注8、 データ取りの為、S02Rでの運用、RBN、国内Jクラスター等の利用の有無を意見欄に記入をお願いします。コンテスト結果には反映されません。
- 注9、 何らかのクレームがある場合には、その根拠を提示して、委員会へ申告をお願いします。

書類提出：形式はJARL 制定 (R1.0) の「サマリーシート」および「ログシート」(または同形式のもの) を使用し、必要事項を記入すること。R2.0での提出はチェックログ扱いとなりエントリーは無効となります。

結果希望者は84円切手貼付のSASE同封(Web上でも同様のものを掲載予定)

社団局はその運用者全員のコールサイン(もしくは氏名)と無線従事者資格をサマリーシートの意見欄に記入すること(結果発表での運用者リストでコールサイン又は氏名を掲載します)

提出(紙ログ)・問い合わせ：〒861-0821 熊本県玉名郡南関町下坂下 1926-1

JG6TXW 清田政勝 (jg6txw@jarl.com)

電子ログ： kumamoto2023@jarl.com (JARL形式のログ・サマリーシート(R1.0)をメール「本文」にテキスト形式で貼り付けてください。「件名」は使用したコールサインを大文字で)

※ ログ・サマリーシートの受理メールは送信しません。その代わりに支部のコンテストページに「ログ受付リスト」を掲載しますので数日経っても掲載されない場合にはログ・サマリーを再送して下さい。またログ・サマリーシートの形式がR2.0での提出の参加者のコールサインも掲載しますので、**R1.0での再提出**をお願いします。

※ **締切：2023年01月16日(月曜日)**

E-Mailの場合はタイムスタンプで、郵送は消印で判断します。

結果発表：JN, 熊本県支部 Web上でも発表

表彰：部門ごとに参加局数に応じて上位の局を表彰

表彰対象は、参加局数 10 局以下 1 位のみ

11 局～20 局 2 位まで

21 局～30 局 3 位まで

31 局～40 局 4 位まで

41 局 以上 5 位まで

得点と同じ場合には早く交信を開始した局を上位に、同時の場合には遅く終了した局を上位とする。この根拠は、このコンテストにどれだけ多くの時間を捧げたかの評価を意としています。

飛び賞：

今回電子ログで提出局の受付番号 1・43・100・150・200・250・300・350・400・450・500 の局には粗品を送ります。(1 番は 18 : 00 終了後ログ提出とします)

=県内局の方へ協力のお願ひ=

今回も前回同様に集中時間帯を設定していますので、是非この機会に貴方のコールサインを聞かせてください。集中時間帯は 09:00～10:00／13:00～14:00／17:00～18:00 とします。

最後に：

コンテストに関するお知らせを随時掲載しますので、開催 1 週間程度前には支部のコンテストページをチェックして下さい。アドレス <https://www.jarl.com.kmatest/>

熊本県支部コンテスト委員会